

## 新型コロナウイルス感染症に関する基本的な対応について

### 1 濃厚接触者の特定と自宅待機について

(1) 小・中学校では濃厚接触は特定せず、学校で感染者と接触があったことのみを理由として登校を制限したり自宅待機を求めたりしない。

※同一世帯内で陽性者が確認され、保健所から濃厚接触者の特定があった場合は自宅待機（原則7日間）を求める。

(2) 学校で感染者と接触（発症2日前～）があった児童生徒や教職員は、目安として7日間は、感染リスクの高い行動を控える。（教育活動の検討し、高齢者施設等への訪問などは控える。）また、症状がある場合には、速やかに医療機関を受診することを依頼する。

### 2 検査の実施について

【小学1～3年生】学校医や教育委員会と相談し、調査機関と調整のうえ学級・学年で、PCR検査を実施する場合がある。

【小学4～6年生】学校医や教育委員会と相談し、抗原検査を実施する場合がある。

【中学1～3年生】調査対象となっていないため、実施しない。

※検査対象者は、検査結果の陰性が確認されるまで登校を控え、陰性が確認でき次第登校できる。

### 3 学級閉鎖等の判断について

#### (1) 学級閉鎖等の期間

5日間程度（土日祝日を含む）

#### (2) 学級閉鎖等の基準

① 同一の学級において複数の児童生徒の感染が判明した場合

※感染者の感染可能期間（発症2日前～）や欠席状況を考慮し、単に2名の感染者がいるからといって学級閉鎖を実施することはない。

② 感染が確認されたものが1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合

③ 1名の感染者が判明し、複数の濃厚接触者が存在する場合

※検査実施のための名簿（濃厚接触者候補リスト）の作成において、濃厚接触者と思われる児童が複数いる場合と捉える。

④ その他、設置者が必要と判断した場合

### (3) 学年閉鎖・学校閉鎖について

基本的な考え方としては同一学年の複数学級閉鎖で学年閉鎖、複数学年の学年閉鎖で学校閉鎖であるが、学校規模に違いがあるため学校医及び教育委員会と相談して決定する。

### 4 熱中症対策について

- マスクの着用を強制しません。(気温・WBGTを確認しマスクを外した方がよいことを伝えます。教師は原則マスク着用します。)
- 活動を工夫し、密集になる場面や対面での活動を避けて活動します。
- マスク着用時は激しい運動は避け、喉が渇いていなくても水分補給をこまめにとります。

### 5 その他

- 家庭訪問や長時間にわたる個別面談等を行った教員が新型コロナウイルス感染症陽性になった場合には、相手に状況を伝えさせていただきます。
- 普段の感染症対策については気を緩めることなく継続してください。

### 6 休日・祝日の連絡先について

お子様が陽性と判明した場合には下記に連絡してください。

【午前9時～午後5時までは】

① 090-2547-2110

② 090-2538-1375

【午後5時以降】

0297-64-1111 (市役所)